

武岡の未来

1. 武岡の概要

私の住んでる武岡は、JR 鹿児島本線西鹿児島駅(鹿児島中央駅)の西側 5km 程度に位置する団地である。

武岡団地には、保育園及び幼稚園 5 校、小学校 2 校、中学校 1 校、高校 1 校、病院 3 棟等の公共施設及び弱者施設がある。また、中心部には大型スーパー、銀行、商店街等が隣接し、老人から子供までがバランスよく居住し、活気のある街である。

私が誇りに思うのは、鹿児島のシンボル『桜島』の雄大さが、小学校の校庭から一望できることである。

このような環境の中で、今後のわが街『武岡』の街づくりについて考えてみた。

2. 武岡の街づくり

2.1. アンケート調査

これからの武岡の街づくりを考える上で、地域住民の考えを聞くことが出来ればよいのであるが、時間的な余裕がないため身近にいる我が家(6 人家族)の全員の意見を聞くこととした。以下に家族の意見を記す。

- ・ 父(私)

桜島に見える風景を活かした街づくり。

車と人が分離された道路網の計画。

- ・ 妻

銀行と大型スーパー、小学校が隣接しており、夕方になると下校時の生徒及び学生、買い物客が集中し、たびたび交通事故が発生している状況であるため何とかして欲しい。

- ・ 長女(小 5 年)

ゴミが少ない街。

危険な場所が少ない街。

騒音のあまり聞こえない街。

自然の多い街。

- ・ 次女(小 3)

自然がいっぱいある街。

- ・ 長男(6 歳)

面白い街。

- ・ 三女(3 歳)

動物がたくさんいる街。

2.2. アンケート結果

家族アンケートの結果をまとめてみると、『安全で、自然にあふれた街』をのぞんでいることがわかる。

この家族アンケートの結果が全てだとは思わないが、武岡並びに同様な街の形態をなした団地に住んでいる人の考える（希望する）ことではないかとおもわれる。

これからますます拍車がかかる『少子高齢化』の時代、子供は武岡の宝である。この子供たちが安心して暮らせる街づくりを地域一体となり考えなければならない。

2.3. これからの武岡

1) 子供たちを自動車からまもるためにはどうすればよいか。

平成 16 年 3 月 13 日より九州新幹線が部分開通するため、交通量が増加することが予想されるため、以下の対策を図り子供たちを自動車から守るものとする。

- ・ **道路のバイパス化を図り通過交通量をすくなくする。**

交通量を少なくすることにより、自動車事故、騒音、排気ガス等の影響が抑えられ、子供たちが安心して暮らせる街となる。

通過交通量が少なくなるため、地区外からの立ち入りが困難となり、地域で子供たちを育てる姿勢が育まれるのではないだろうか。

2) 安心して買い物が出来るためにはどうすればよいか。

前述の通り、小学校、銀行、大型スーパーが隣接しているため、自動車事故の危険性の大きい待ちである。

- ・ **街の中心部のモール化を図る。**

小学校、銀行、大型スーパーから半径 500m 以内は車の交通をシャットアウトし、歩行者の安全を確保する。

3) 桜島を活かした街づくり

武岡は高台にあるため、桜島を見事に望むことが出来る。この桜島を活かした街づくりを行う必要がある。

- ・ **高層建築物の規制。**

- ・ **街路樹の低木化。**

上記2項目を実施すれば、桜島に見える風景を残し、かつ自動車から視野及び歩行者の視野が広くなり自動車事故の危険性も減少すると思われる。

最後に、『武岡の街づくり』は建設コンサルタントとしてではなく、子供を持つ父親として述べさせていただいた。